

# わかぐさ

## 目次

○地域に見守られ、地域に貢献する谷戸小学校	1
○卒業に向けて！	2・3
～決意の一文字～	
○3月の行事予定・生活目標	4

平成31年2月28日 No.521  
西東京市立谷戸小学校 校長 野崎信行

## 地域に見守られ、地域に貢献する谷戸小学校

校長 野崎 信行

子供が主体的・対話的で深い学びをすることができる授業を目指して、谷戸小学校は2年間の研究をしてきました。その成果を2月8日（金）に発表しました。当日は、西東京市内の小中学校の先生の他にも、都内様々な区や市の小学校、さらには鳥取県からも先生が来られ、たくさんの方々に参加していただきました。参加された先生からは、「子供から主体性を引き出すために学習の見通しをもたせた指導」「対話を活性化させるために子供の考えをゆさぶる教員の発問」「深い学びにするために、子供に文学作品の読み方を教え、その読み方を用いて読み取った内容を基に考えをもたせた指導」等を評価していただきました。

研究発表会を迎えるにあたり、役員を中心としたPTAの方々には発表会の準備や運営にご協力をいただいたり、学校整備ボランティアの方々には事前に廊下・階段の壁の汚れを落としていただいたり、親父の会の方々には教室の不用なスクリーンの撤去とテレビやパソコン等の電気配線の整備をしていただきました。様々な皆様のご協力を得て、すてきな研究発表会を実施できたことに対して深く感謝を申し上げます。

さて、西東京市では、昨年10月1日に「西東京市子ども条例」が施行されました。市役所のホームページや1月の市報に掲載されています。すでに、ご存じの方もたくさんいらっしゃると思います。

「子ども条例」は、今と未来を生きるすべての子供が健やかに育つ環境を整え、まち全体で子供の育ちを支えていくことを目的としてつくられました。この基本的な考えが前文にメッセージとして多くの方が読みやすく理解してもらいやすい文章で示されています。例えば「わたしたちは、まち全体で子どもの育ちを支える、子どもにやさしい西東京をともにつくっていきます。」「子どもは、一人ひとりの違いが認められ、

自分らしく育つことができます。」と書かれています。「わたしたちは」「こどもは」「地域は」「市は」という主語で書き始める文章で読みやすく、「子ども条例」の考え方がよくわかります。

第三章では、子供にやさしいまちづくりの推進として虐待防止、いじめ問題への対応、こころとからだの健康と安全な環境づくりが示されており、大きく学校教育に関わります。

また、新たに「西東京市子どもの権利擁護委員」を設置し、擁護委員は子供からの相談に応じて助言や支援を行ったり、「子ども施策推進本部」を置き、子供施策で対応すべきことの方角性を決めて調整をしたりするなど規定しています。

今年度、ひだまり谷戸主催の昼食会に谷戸小学校合唱団が歌を披露し、お年寄りの方と交流しました。4年生がその敬老者や日頃お世話になっている地域の方々に学芸会の手作り招待状を送りました。当日は来賓席が足りなくなるぐらいのたくさんの方々にお越しいただいて学芸会を盛り上げていただきました。また、地域の方から子供たちに感謝状もいただきました。子供たちは地域の方から見守られている心地よさを感じ、地域に貢献している自覚がはぐくまれる教育活動になりました。これは、学校という場を通して、まち全体で子供の育ちを支えていくことを目的にする「子ども条例」の考えに合致します。来年度以降も、地域の方から見守られ、地域に貢献する谷戸小学校を目指していきます。

平成30年度も、保護者の皆様には、ご理解をいただきながら授業のお手伝い、読み聞かせ、学校整備ボランティア、親父の会等のご協力をいただきました。地域の皆様にも深いご理解とご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

# 卒業に向けて！

# ～決意の一字～

## 6年1組

行	行動の「行」。ほくは、運動会の組体操で、流されずに自分から行動することを学んだ。だから、待つのではなく自分から行動することを大切に努力していきたい。	志	自分が今、夢中になっているものに志をもつと、それに向けて努力できるし、自分で考え、工夫することができる。これから先も、マイナスに考えず、志をもって取り組みたい。	一	私の小学校生活は、人に頼る場面が多かった。だから、中学校生活では心機「一」転、自分から働きかけるようにしたい。また、「はじめ」のこの気持ちを忘れずにチャレンジしたい。
全	小学校生活最後の学芸会で、私は全力を出して演じました。方言がとても難しかったのですが、家でもたくさん練習しました。全力が出せたから、本番では大きな達成感を味わうことができました。	責	6年生になってから、低学年や先生に任されていることに気付き、責任を自覚した。やらされているのではなく、任されていると前向きに考えて行動したい。	心	この6年間、たくさんの行事で、みんなで心を一にし、難しいことも乗り越えてきた。だから、これからもいろいろな人と協力していきたいと思った。
正	授業を真剣に受ける、宿題などのやるべきことをやるといった、正しい行動の大切さに気付いた。中学校ではしっかり学習に取り組み、正しい学校生活にしたい。	思	下級生のみなさんには、これから卒業するまでに、最高の思い出を作してほしいです。6年生になると、行事をリードしなければならないので大変ですが、がんばった分思い出として残ります。	皆	移動教室の野外炊事で、コミュニケーションや協調性の大切さを学んだ。これらの、皆と関わる力を、中学校に行っても大切にしていきたい。
笑	ほくは、怒られたときに、笑ってごまかしてまわることがあり、6年生のうちに直したいと思っていました。もっといいことでたくさん笑えるようにしていきたいです。	動	この6年間で、お互いに協力し合うことの大切さを学んだ。中学校でも、自分がやるべきことはやる、友達が困っていたら相談に乗るなど、自分から積極的に行動したい。	最	残り少ない小学校生活を、最後まで楽しく過ごしたいです。また、これからは、すぐにできないことも、最後まであきらめないようにしたいと思います。
始	ほくは、苦手なことを避けていたけれど、卒業して中学生になろうとしている今、苦手なことから始めていきたい。	助	ほく達は、移動教室で助け合うことの大切さを知りました。これから谷戸小を引っ張っていく皆さんにも、お互いを助け合うということをお願いしています。	続	楽しいことも、大変なことも、つらいことも、自分が一度始めたことを、まずは続けてみる。続けてみたら、不得意なことでも得意になるかもしれないから。
成	下級生には、注意されなくても、自分で気づいて成長してもらいたいから、この字にしました。特に5年生は、下級生を引っ張って立派な6年生になってください。	勢	小学校ではのんびりしていたけど、中学生になったら積極的に行動したり発言したりして、勢いのある生活をしたいです。	友	これからも前向きな気持ちをもって、誰とでも仲良くできるようにしたい。そして、友達を大切に、中学校でもたくさんの思い出を作りたい。
進	卒業までの残り少ない時間で、安心して中学に行けるよう、一歩でも進んでいきたい。下級生には、今の学校をよりよくするために、前に進んでほしい。	飛	鳥の雛だって、いつかは親元を巣立って飛んでいく。もう卒業間近だし、人に頼るのではなく自立して生活していきたい。	伸	ほくは、これからの中学校生活で、学力、体力など、様々な面を伸ばしていきたい。そのために、中学校では計画的に練習を重ねていきたい。
挑	残り少ない小学校生活で、悔いのないようにいろいろなことに挑戦すること。中学校に行ったら、何事にもまずチャレンジして、結果ではなくそこから学ぶことを大切にしていきたい。	仲	今年度のクラスになって、男女で挑戦することが多くなった。特に、移動教室のキャンドルファイヤーでは、最初は手をつなぐのも嫌がっていたけど、当日はみんなで楽しく活動することができた。	努	今までは、努力をせずに怒られたり、自分でもまずいと思ったりすることがあった。これからは、自分の好きなことを見つけて、一生懸命努力をしていきたい。
上	1年生からいろいろなことを学んでこまで成長した。また、6年生になって、難しいことに挑戦してやり切ることができた。「上」へと進みながら小学校生活を送れたという思いをこめた。	協	一人ではできないことも、友達と一緒にやれば、「楽しく」「友情が深まり」いろいろな意味で成功する。下級生には、学びや行事で積極的に協力し、楽しさを味わってほしい。	越	5年生までは、授業中に迷惑をかけることが多かった。でも、6年生になって徐々にそれがなくなり、これまでの自分を抜け出せた。皆に認めてもらえるように、残りの小学校生活を送りたい。
支	相手を思いやり、互いに支え合っていくことで、普段の生活が楽しく華やかに、そして行事も協力して一生の思い出になります。残りの小学校生活でも、支えるということ意識していきたいです。	彩	中学校では、一つのことばかりにとらわれるのではなく、多種多様なことに挑戦して、彩りのある生活にしていきたい。	楽	運動会や学芸会、音楽会などの行事、お楽しみ会など6年間でいろいろな楽しいことがありました。これからも、楽しい時間が続くといいなと思います。
練	学芸会の時に、家や学校でたくさん練習して、本番で迫力のある演技ができました。そこから、練習することが大事だと思いました。	良	何事も、大きな失敗がないように努力し、良いことがあればいいなと思います。残り少ない小学校生活を、しっかり過ごしていきたいです。	勉	分からないことをそのままにしていたら、分からないままになってしまうので、中学校では、遊んではかりないで、勉強に集中したいです。
国	今、国語が苦手なので、本をいっぱい読んで、6年生の終わりまでに国語を得意にしたいです。	創	下級生には、友達と手を取り合い、協力し合って、谷戸小学校の伝統を創ってほしいです。そして、それを受け継ぎ、続けてほしいです。	強	人に優しく、自分には強さをもって中学生になりたい。優しさとは、誰とでも公平に関わって思いやりをもつこと。強さとは、周りに流されずに、やっていいことと悪いことを自分で考えて行動すること。

# 卒業に向けて！

# ～決意の一字～

## 6年2組

努	努力すれば必ず成功すると思ったが、成功しない時もあった。成功した場合は、本当に努力したとただけだと思う。	新	中学校に行ったら、新しい友達や校舎に出会う。6年間で新しいことをたくさん学び、新しいことに挑戦してきたので、これからも挑戦し続ける。	思	人を思いやり、人のことを考えることで本当の気持ちを理解し、友達ともっと仲良くできる。卒業まで2組でよかったと思えるように頑張りたい。
学	6年間、小学校生活を続けて学んだことを思い出し、卒業後、中学でもそれを生かして生活したい。中学校でも新しいことを学んでいきたい。	笑	いつでもずっと笑っていようと思います。笑っていれば、周りの空気ははずみます。	勢	立ち止まらない、振り返らない、勢いよく進みたい。悲しいこと、辛いことがあっても進み続ける勢いを大切にしたい。
動	困っている人がいたら、自分から動くようにする。何かしなければならぬ時は、自分から動く。休み時間は、体を動かして遊ぶことも大切。	遊	得意になったことや興味をもったものは、遊びからできたものがほとんどだ。だから、友達とたくさん遊んで、悔いのない小学校生活にしたい。	全	今までの小学校生活でできることを楽しくやれました。そして、自分にできることを卒業までに全うして、悔いのないようにします。
助	誰とでも助け合えるようになりたい。毎日の生活でも助け合っていきたい。谷戸小の下級生もみんなで助け合い、谷戸の伝統をつないでいってほしい。	磨	小学校生活で勉強や習い事などの力を磨いた。その力を中学校で発揮したい。そしてこれからもいろいろな力を磨きたい。	楽	学ぶのは、楽しいほうがいい。楽しく学んだら覚えやすい。「ふざけて楽しい」ではなく「楽しく学べる」を心掛ける。
進	小学校1年生から6年間まで絶え間なく進んできた。小学校で学んだことをふまえて中学校に進んでいきたい。	頑	この6年間もそうだったが、中学生になっても頑張ることが大切。下級生にも残りの小学校生活を頑張りたい。	未	この字は、小学校で知らなかったことを学び、これからも学び続けることの「未知」と、自分にはたくさん可能性があるという「未来」の意味です。
考	この6年間で、いろいろな考え方を学びました。6年生では、自分の考えをノートに書くようにもなりました。中学生になっても続けたいです。	努	これからの人生「楽」だけして「楽しく」生きることはできないから、下級生には自分の将来のために努力を惜しまず行動してほしい。	楽	残りの小学校生活をみんなと一緒に楽しみたい。小学校生活最後は楽しい3学期にしたい。
努	中学校では、部活を頑張って強くなりたい。この字を選んだ理由は、強くなるには努力をしなければならぬからだ。	勉	小学校はもう少しで卒業するけれど、中学校では勉強を頑張りたい。特に読み取りができるように頑張っていこうと思う。	歌	6年生になって歌や音楽が好きになったことで、先生に褒められたりいろいろなことが分かったりするようになった。自分には音楽があって良かった。
動	学校を支えるためには、動くことが大切だ。学ぶために必要なのは、考え、行動することだ。下級生の皆さんにも、自ら動いて谷戸小を支えてほしい。	希	学校を卒業しても、希望を失わずにどんなに辛くても、くじけないようにしたい。どんなときも希望を捨てずに頑張る。	尽	小学校生活でいろいろなことを一生懸命にやり、力を尽くすことができた。中学校に進学しても一日一日を大切に、全力を尽くしていきたい。
悔	卒業まで残りわずか。本当に今のままでいいのかわからない。悔いのないよう一日一日を大切に、小学校生活を送っていききたい。	挑	挑戦する怖さや楽しさは、挑戦してみないと分からない。失敗をバネにして次に進んでいくためにも、前を向いて何事にも挑戦する自分でありたい。	挑	テニスに挑戦することで学んだあきらめない気持ちは、学校生活で役立った。中学でもテニスを続けて色々なことに挑戦したい。
楽	ほくは、らくに過ごすという意味でこの漢字を選んだのではない。やるときはしっかりやり、楽しむ時は思いっきり楽しんで過ごしたいと思う。	残	卒業まで残り少ない時間、学校のため、クラスのためにできることをやって、心残りが無いようにして卒業したいです。	謝	お世話になった先生や親、地域の方に、感謝しています。普段は恥ずかしくて感謝の言葉を親に伝えられないけど、卒業前には言いたいと思います。
楽	勉強や運動を無理せずやり、楽しい充実した生活を送りたい。これからも楽しいことをたくさんしたい。	協	一人では出来なくても、みんなで協力したら出来るようになった。私は6年生で「力を合わせる」という大切なことを学んだ。	努	残り少ない小学校生活の間に、中学校に向けて努力して、卒業の日「やりきった」という思いをもてるよう全力で取り組む。
責	中学に行っても物事に責任をもち、忘れることがないよう心がける。谷戸小の下級生にもこれを心がけてほしい。	努	何事にも努力しなければ目標を達成することはできない。努力をすることでいろいろなことを学んで成長する。	楽	残り1ヶ月の小学校生活を楽しく大事に送っていききたい。そして中学校でも楽しく過ごしていきたい。
挑	卒業に向けて様々なことに挑戦して、いろいろなことを学びたい。中学生になっても、このことを忘れずに挑戦していきたい。	勇	いやなことがあっても、それを避けることなく勇気をもって立ち向かっていく、という気持ちをこめてこの漢字を選んだ。	成	平成はそろそろ終わってしまうけれど、平成が終わる前に、小学校6年間で学んだことを生かし、成長した姿で卒業したい。

# 3月の行事予定



日	曜	行事等
1	金	安全指導 6年生を送る会 保護者会 (3・4年) 15:00～
2	土	
3	日	
4	月	朝会 読書週間 保護者会 (1・2年) 15:00～
5	火	避難訓練 委員会
6	水	
7	木	水曜時程 色覚検査 (1年) 卒業コンサート・感謝の会 (6年) 14:40～
8	金	たてわり班活動 水曜時程
9	土	
10	日	
11	月	朝会 水曜時程 美しい日本語教室 (5年) 4・5校時
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	卒業式会場準備 (5年) 6校時
16	土	スプリングコンサート (合唱団)
17	日	
18	月	水曜時程 大掃除 (2校時)
19	火	大根餅づくり (1年) 1～4校時 給食終了
20	水	4時間授業 6年防災セット返却
21	木	春分の日
22	金	修了式 卒業式予行練習 (1年～4年 10:15 下校、 5・6年 12:20 下校)
23	土	
24	日	
25	月	卒業式 (5・6年)
26	火	春季休業日始
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

<b>生活</b>	使ったものの後始末を きちんとしてよう
<b>保健</b>	1年間生活の反省をしよう
<b>給食</b>	1年間の食生活を 振り返ってみよう
<b>清掃</b>	1年間お世話になった所を きれいにしよう

## 3月の生活目標について

生活指導部

### 「使ったものの後始末をきちんとしてよう」

学校では、自分の物を片付ける場所を決め、自分の物は自分で管理することを指導しています。また、自分の物以外にも、みんなが使用する専科の教室は、授業後に机、椅子の片付けや掃除を行い次のクラスが気持ちよく使用できるようにしています。

3月は学年末です。1年間使った教室に感謝の気持ちを込めて、大掃除を行います。「環境を整えると気持ちよく生活できること」や「節目に身の回りをきれいにし、すっきりとした気持ちで次のスタートを切れるようにすること」を実感してほしいと考えています。

ご家庭でも、物をしまう場所や片付け方を確認する時間をとってください。学年末は、持ち帰る物が多くなりますので、物の管理、保管をお子様と一緒に進めていただきますよう、お願いいたします。

谷戸小の子供たちが、学校でもご家庭でも片付け名人になれるように声かけをしていきましょう。

### 学校一斉メール登録について

現在登録いただいている「学校一斉メール」は、3月中及び4月9日(火)までを有効とし、緊急連絡等に使用します。登録解除は、4月9日(火)に学校側で一斉に行います。

平成31年度の登録については、4月9日(火)に学校通知を配布いたしますので、早めの登録をお願いします。

スクールカウンセラー長谷川先生の3月の相談日は、5日(火)、12日(火)です。